

形式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Computed tomography in evaluation of patients with stage III melanoma.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ9-5	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (I V)	
	Pubmed ID	9142387	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Ann Surg Oncol.	
	雑誌 ID		
	巻	4	
	号	3	
	ページ	252-8	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1997 Apr-May	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Kuvshinoff BW	Department of Surgery, Memorial Sloan-Kettering Cancer Center
その他著者 1		Kurtz C	同上
その他著者 2		Coit DG	同上
その他著者 3			
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	所属リンパ節転移術後患者における遠隔転移検索のために行う CT 検査の有用性を評価する	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	Memorial Sloan-Kettering Cancer Center	
	対象者	1988 から 1994 までの 1983AJCCstageⅢの患者 347 人	
	対象者情報 (国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (3)	
	対象者情報 (性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (3)	
	対象者情報 (年齢)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (22)	
	介入 (要因曝露)	CT scan	
	エンドポイント (アウトカム)	エンドポイント	区分
	1	転移	1.主要 2.副次 3.その他 (1)
	2		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	3		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	4		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	5		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	6		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	7		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	8		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	9		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	10		1.主要 2.副次 3.その他 ()
	主な結果	788回の撮影で33の転移が見つかった(4.2%)。一方偽陽性は66/788で8.4%であった。 頸部リンパ節腫脹のある患者において胸部 CT で転移が見つかったのは7/35、20%であった。 ソケイリンパ節腫脹のある患者において骨盤 CT で転移が見つかったのは7/94、7.4%であった。	
	結論	1983AJCCstageⅢの患者にルーチンで CT を行っても転移病変が見つかることはまれである。自覚症状の無い患者への頭部 CT、ソケイリンパ節腫脹患者への胸部 CT、頸部または腋かリンパ節腫脹患者への骨盤 CT は適応とならない。 頸部リンパ節腫脹患者への胸部 CT、ソケイリンパ節腫脹患者へ骨盤 CT を選択的に行うことは有用かもしれない。	
備考			
レビューワーコメント	レビューワー氏名	古賀弘志	

	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ I V ）
--	------------	--------------------